PC98-NXシリーズ

NEC

Mate/Mate J

はじめにお読みください

タイプME、タイプMC（コンパクトタワー型）
（Windows Vista® Businessインストールモデル）
（Windows Vista® Home Basicインストールモデル）
（Windows® XP Professionalインストールサービス）

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。
本書では、特にことわりのない場合、

- Windows Vista® Business with Service Pack 1（SP1）、およびWindows Vista® Home Basic with Service Pack 1(SP1)を総称して、Windows Vistaと表記します。
- Microsoft® Windows® XP Professional operating system日本語版 Service Pack 3をWindows XPと表記します。

なお本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ

▼

▼

▼

1 Windows XP Professional インストールサービスについて

ライセンスについて

・Windows XP Professionalインストールサービスをご利用になる前には、必ず添付の『マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項』をお読みください。

・Windows XP Professionalインストールサービスには、添付の『マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項』をお読みになったお客様からのご依頼により、弊社がお客様の代わりにWindows Vista Businessのライセンス条項に付帯するダウングレード権を行使してWindows XP Professionalをプリインストールしております。

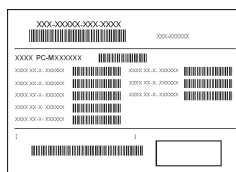
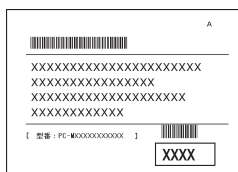
Windows Vista Businessを利用する場合

Windows XP ProfessionalインストールサービスでWindows Vista Businessをご利用いただくためには、ご購入時にセレクションメニューで選択、または「メディアオーダーセンター」で購入したWindows Vista Business再セットアップ用媒体を使用し、再インストールする必要があります。
詳しくは『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

2 型番を控える

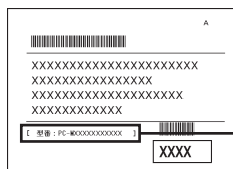
型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されているスマートセレクション型番(15桁の型番です)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。
スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、p.7「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、p.12「3　添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

PC-M❶□❷□□❸□❹□❺□❻□❼□❽□❾□6

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	18	1.80GHz
	22	2.20GHz
	30	3GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPU
	A	インテル® Core™2 Duo プロセッサー
	L	インテル® Pentium® デュアルコア・プロセッサー
	X	インテル® Celeron® プロセッサー

❹本体の型の種類を表しています。

✓	型　番	本体の型
	E	タイプME
	C	タイプMC（コンパクトタワー型）

❺ディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	S	17型TFT-LCD（SXGA）（LCD73VXM-V）
	V	19型ワイドTFT-LCD（WXGA+）（LCD194WXM-V）
	Z	なし

❻インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS	選択アプリケーション
	B	Windows Vista Business	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007
	A		Office Personal 2007
	R		なし
	Y	Windows Vista Home Basic	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007
	T		Office Personal 2007
	3		なし
	6	ベースOS：Windows Vista Business インストールOS：Windows XP Professional	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007
	5		Office Personal 2007
	7		なし

❼FDD、DVD/CDドライブ、キーボード＆マウスの種類を表しています。

✓	型番	FDD	DVD/CDドライブ	キーボード＆マウス
	D	あり	CD-R/RW with DVD-ROM	PS/2 109キーボード ＆ PS/2マウス（ボール）
	5		DVDスーパーマルチドライブ	
	2、G	なし	DVD-ROM	
	N、U、R		CD-R/RW with DVD-ROM	
	6、X、S		DVDスーパーマルチドライブ	

❽通信機能、合計メモリ、グラフィックアクセラレータ、再セットアップ用媒体の種類を表しています。

✓	型番	通信機能	合計メモリ	グラフィックアクセラレータ	再セットアップ用媒体
	2	LAN	2GB（1,024MB×2）	チップセットに内蔵	再セットアップ用媒体添付（再セットアップ用バックアップイメージのHDD格納なし）、または再セットアップ用媒体添付＋再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納
	9		1GB（1,024MB×1）		
	M		512MB（512MB×1）		
	1		2GB（1,024MB×2）		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納
	X		1GB（1,024MB×1）		
	U		512MB（512MB×1）		
	7		2GB （1,024MB×2）		再セットアップ用媒体（Windows Vista Business用 ＆ Windows XP Professional用）添付
	6		1GB （1,024MB×1）		
	5		512MB （512MB×1）		

❾ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表しています。

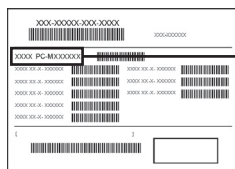
✓	型　番	ハードディスクの容量	筐体アクセントカラー
	S	160GB	ダークブルーまたはなし
	T		エレガントシルバー
	8	80GB	ダークブルーまたはなし
	9		エレガントシルバー

※上記の❶～❾のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で「型番を控える」は完了です。
p.12「3　添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、p.12「3 添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶ モデルの種類を表しています。

✔	型　番	モデル
	Y	Mate
	J	Mate J

❷ CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✔	型　番	クロック周波数
	18	1.80GHz
	22	2.20GHz
	28	2.83GHz
	30	3GHz
	31	3.16GHz
	33	3.33GHz

❸ CPUの種類を表しています。

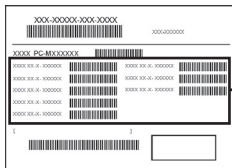
✔	型　番	CPU
	F、G	インテル® Core™2 Quad プロセッサー
	A、B	インテル® Core™2 Duo プロセッサー
	L、M	インテル® Pentium® デュアルコア・プロセッサー
	W、X	インテル® Celeron® プロセッサー

❹本体の型の種類を表しています。

✓	型　番	本体の型
	E	タイプME
	C	タイプMC(コンパクトタワー型)

❺インストールOSの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS
	R	Windows Vista Business
	3	Windows Vista Home Basic
	7	ベースOS:Windows Vista Business インストールOS:Windows XP Professional

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番は、ご購入時に選択したものがステッカーに記載されています。ご購入されたモデルによっては、選択できないCOP型番があります。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP 型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-D-KB□□□□、PC-E-KB□□□□はキーボード、マウス、USBメモリを表しています。

✓	型　番	キーボード、マウス、USBメモリ
	RS21	PS/2 109キーボード＆PS/2マウス
	USL4	USB 109キーボード＆光センサー USBマウス
	10T1	テンキー付きPS/2 小型キーボード＆PS/2マウス
	UFP4	指紋センサ機能付きUSB小型キーボード& 光センサー USBマウス
	UFU4	指紋センサ機能付きUSB小型キーボード＆ 光センサー USBマウス＋USBメモリ

❷ PC-D-H□□□□6、PC-E-H□□□□6はハードディスクの容量、SecureRedirectorを表しています。

✓	型　番	ハードディスクの容量	SecureRedirector
	SE80、SC80	80GB	なし
	SE16、SC16	160GB	
	SE32	320GB(省電力ドライブ)	
	DE80	80GB×2	
	DE16	160GB×2	
	DE32	320GB(省電力ドライブ)×2	
	RE80	ミラーリング用80GB×2	
	RE16	ミラーリング用160GB×2	
	RE32	ミラーリング用320GB (省電力ドライブ)×2	
	CE80、CC80	80GB	あり

❸ PC-D-M□□□□6、PC-E-M□□□□6は合計メモリの容量を表しています。

✓	型　番	合計メモリの容量
	SC51	DDR2 SDRAM　512MB (512MB×1)
	SC10、SC1H	DDR2 SDRAM　1GB (1,024MB×1)
	DC20、DC2H	DDR2 SDRAM　2GB (1,024MB×2)
	SE51	DDR3 SDRAM　512MB (512MB×1)
	DE10	DDR3 SDRAM　1GB (512MB×2)
	SE10	DDR3 SDRAM　1GB (1,024MB×1)
	DE20	DDR3 SDRAM　2GB (1,024MB×2)
	SE20	DDR3 SDRAM　2GB (2,048MB×1)
	DE40	DDR3 SDRAM　4GB (2,048MB×2)

❹ PC-D-CV□□□6、PC-E-CV□□□6はBD/DVD/CDドライブ＆FDDを表しています。

✓	型　番	BD/DVD/CDドライブ＆FDD
	ED2、CD1、CD3	DVD-ROM
	ER2、CR1、CR3、CRH	CD-R/RW with DVD-ROM
	CR2	CD-R/RW with DVD-ROM＆FDD
	EM2、CM1、CM3、CMH	DVDスーパーマルチドライブ
	CM2	DVDスーパーマルチドライブ＆FDD
	EB2	ブルーレイディスクドライブ(BDライター)

❺ PC-D-AC□□□□、PC-E-AC□□□□は筐体アクセントカラーを表しています。

✓	型　番	筐体アクセントカラー
	FLE1	ダークブルー
	GLE6	エレガントグリーン
	SLE6	エレガントシルバー

❻次の型番はディスプレイの種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイ
	LCD52VM-V-D、LCD52VM-V-L、LCD52VM-V-C	15型TFTアナログ-LCD(XGA)
	LCD73VXM-V-D、LCD73VXM-V-L、LCD73VXM-V-C	17型TFT-LCD(SXGA)
	LCD93VXM-V-D、LCD93VXM-V-L、LCD93VXM-V-C	19型TFT-LCD(SXGA)
	LCD194WXM-V-D、LCD194WXM-V-L、LCD194WXM-V-C	19型ワイドTFT-LCD(WXGA+)
	LCD205WXM-D、LCD205WXM-L、LCD205WXM-C	20.1型高精細ワイドTFT-LCD(WSXGA+)

注意　ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「-D」、「-L」または「-C」が書かれていませんが、同じ商品です。

❼PC-D-AP□□□5、PC-E-AP□□□5は選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型　番	選択アプリケーション
	EPR	Office Professional 2007
	EPE、CPE、CHE	Office Personal 2007
	EPP、CPP、CHP	Office Personal 2007 with PowerPoint 2007

❽PC-D-2HE□□□、PC-E-2HE□□□は増設ハードディスクオプションを表しています。

✓	型　番	増設ハードディスクオプション
	AD7	ミラーリング Serial ATA RAID
	SR6	Standby Rescue Multi

❾PC-D-GRE□□5、PC-E-GRE□□5はグラフィックアクセラレータを表しています。

✓	型　番	グラフィックアクセラレータ
	GF	NVIDIA® GeForce® 8400 GS(デュアルディスプレイ対応)
	DV	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)

注意　タイプMEのGeForce® 8400 GSを選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の「専用コネクター DVI-D(メス) デジタルディスプレイケーブル3」(PC-MA-K35)が必要です。

⑩PC-D-SP□□□6、PC-E-SP□□□6は再セットアップ用媒体を表しています。

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	EVB	再セットアップ用DVD-ROM Windows Vista Businessモデル用
	CVH	再セットアップ用DVD-ROM Windows Vista Home Basicモデル用
	EXS、CXS	再セットアップ用DVD-ROM Windows Vista Business用 & 再セットアップ用CD-ROM Windows XP Professional用
	EXP	再セットアップ用CD-ROM Windows XP Professional用

⑪PC-□-SVEFE6はセキュリティ機能を表しています。

✓	型　番	セキュリティ機能
	D、E	FeliCaポート(外付け)

⑫PC-D-EX□□□3、またはPC-E-EX□□□3は保証サービスを表しています。

✓	型　番	保証サービス
	4HY	標準保証拡張G3 [4年間翌営業日出張修理]
	3HY	標準保証拡張G3 [3年間翌営業日出張修理]
	4DY	動産総合保険付標準保証拡張G3 [4年間引取修理専用]
	3DY	動産総合保険付標準保証拡張G3 [3年間引取修理専用]
	4HJ	標準保証拡張G3(Jシリーズ用) [4年間翌営業日出張修理]
	3HJ	標準保証拡張G3(Jシリーズ用) [3年間翌営業日出張修理]
	4DJ	動産総合保険付標準保証拡張G3(Jシリーズ用) [4年間引取修理専用]
	3DJ	動産総合保険付標準保証拡張G3(Jシリーズ用) [3年間引取修理専用]

⑬PC-□-FDEFD6はFDDを表しています。

✓	型　番	FDD
	D、E	FDD

以上で「型番を控える」は完了です。
次の「3　添付品の確認」へ進んでください。

3 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。

❶ 箱の中身を確認する

p.3の1またはp.7の1、p.8の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□**保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)**

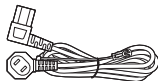
保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

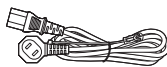
□**はじめにお読みください(このマニュアルです)**

□**本体(ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMate、またはMate Jを指します)**

□**キーボード**　　□**マウス**

タイプMEの場合添付

□サービスコンセント付き電源コード

タイプMC（コンパクトタワー型）の場合添付

□サービスコンセント付き電源コード

□ケーブルストッパ

□ネジ（1個）

□スタビライザ（2個）

マニュアル

□ソフトウェアのご使用条件（お客様へのお願い）
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□アプリケーションCD-ROM ／マニュアルCD-ROM
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□保証規定＆修理に関するご案内

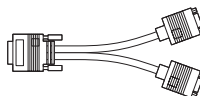
Windows Vista Businessインストールモデルの場合添付
（タイプMEのみ）

□ FlyFolder CD-ROM

Windows XP Professionalインストールサービスの場合添付

□ マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項

グラフィックアクセラレータでGeForce® 8400 GSを選択した場合添付
（タイプMEのみ）

□アナログケーブル（DualView対応）

再セットアップ用媒体を選択した場合添付

次のいずれかが添付されています。
- □ 再セットアップ用DVD-ROM
- □ 再セットアップ用CD-ROM
- □ 再セットアップ用DVD-ROM＋再セットアップ用CD-ROM

BD/DVD/CDドライブの種類でCD-R/RW with DVD-ROM、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブを選択した場合添付

- □ WinDVD for NEC CD-ROM / Roxio Creator LJB CD-ROM

BD/DVD/CDドライブの種類でDVD-ROMを選択した場合添付

- □ WinDVD for NEC CD-ROM

BD/DVD/CDドライブの種類でブルーレイディスクドライブを選択した場合添付（タイプMEのみ）

- □ Roxio BackOnTrack LE CD-ROM

Standby Rescue Multiを選択した場合添付（タイプMEのみ）

- □ Standby Rescue Multi v4 CD-ROM
- □ Standby Rescue Multi アクティベーションキー案内（アクティベーションキーの記載があります）

アプリケーションを選択した場合添付

- □ 選択アプリケーション
  Microsoft® Office Personal 2007、
  Microsoft® Office Personal 2007 with Microsoft® Office PowerPoint® 2007、
  またはMicrosoft® Office Professional 2007
- □ 2007 Office system SP1 CD-ROM

添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
（p.5 1-❻、またはp.10 2-❼で選択アプリケーションの種類がわかります）

マニュアル

キーボード、マウスで指紋センサ機能付きUSB小型キーボードを選択した場合添付（タイプMEのみ）

- □ 指紋センサ（ライン型）ユーザーズガイド

マニュアル

キーボード、マウスで指紋センサ機能付きUSB小型キーボード＋USBメモリを選択した場合添付
（タイプMEのみ）

□ USBメモリ

セキュリティ機能を選択した場合添付（タイプMEのみ）

□ FeliCa Secure Client / FeliCaポート自己診断 CD-ROM

□ FeliCaポート（外付け）

SecureRedirectorを選択した場合添付

□ SecureRedirector CD-ROM/
SecureBranch AccessManager CD-ROM

□ ソフトウェアのご使用条件（SecureBranch AccessManager用）
/SecureRedirectorモデルをお使いの方へ

保証サービスを選択した場合添付

マニュアル

□ 標準保証拡張G3または動産総合保険付標準保証拡張G3

❷ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

（p.4 1-❺またはp.10 2-❻でディスプレイのあるなし、種類がわかります。）

❸本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で「添付品の確認」は完了です。
次の「4　設置場所の決定」へ進んでください。

4 設置場所の決定

設置場所を決める

○設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

◆屋内
◆温度10℃〜 35℃、湿度20%〜 80% （ただし結露しないこと）
◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない（机の上など）

×設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機（本体とディスプレイ、キーボードなどを含んだMate、またはMate Jを指します）の故障や破損の原因になります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く
◆直射日光があたる場所
◆暖房機の近く
◆薬品や液体の近く
◆腐食性ガス（オゾンガスなど）が発生する場所
◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く
◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所
◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所
◆ホコリが多い場所
◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所
◆ディスプレイの通風孔がふさがる場所
◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。

・ 本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因になります。
・ 本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
・ 通風孔をふさがないようにできるだけ周囲に15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。
・ 横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。
なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないでください。

本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル、コード(電源コード、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因になりますので、大切に取り扱ってください。

以上で「設置場所の決定」は完了です。
次の「5　添付品の接続」へ進んでください。

5 添付品の接続

接続するときの注意

- **LANケーブル（別売）は接続しない**
  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。
- **本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない**
  故障の原因になります。

タイプMEの場合

1. スタビライザの取り付け

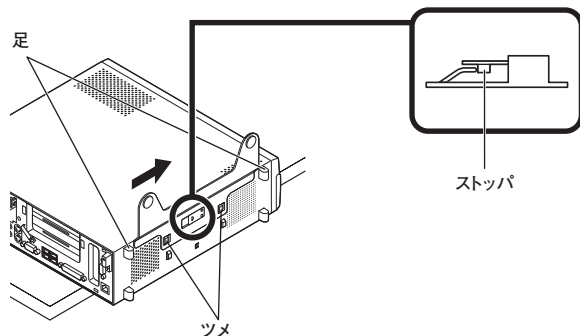
本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザという脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。
横置きで使用する場合は、p.20「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

❶ スタビライザを2つ取り付ける場合

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

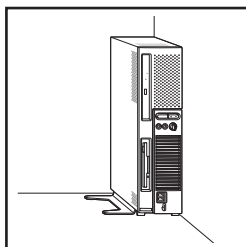
②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

> スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

p.18「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などに付けて使用してください。

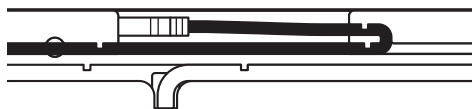
2. マウス、キーボードを接続する

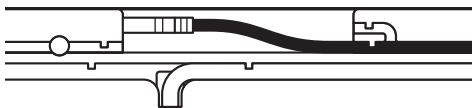
お使いのキーボードにより、❶～❸のいずれかで接続してください。

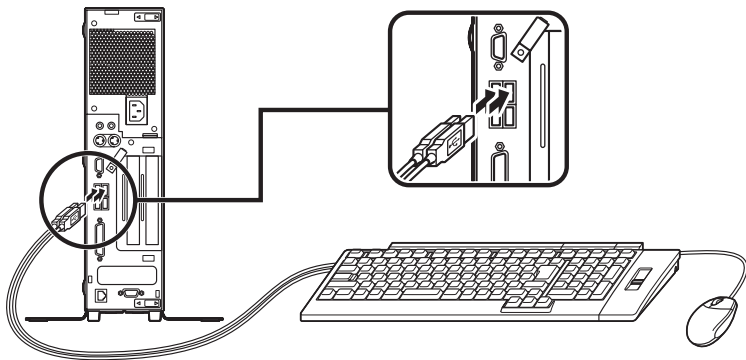
※ 本体背面に接続する場合、ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART3　周辺機器の利用」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

❶ 指紋センサ機能付きUSB小型キーボードを接続する場合

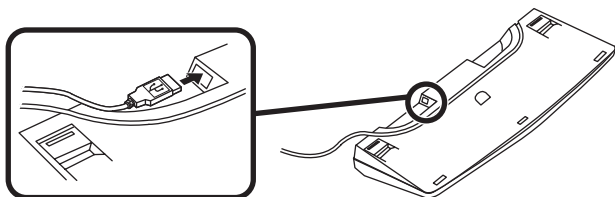
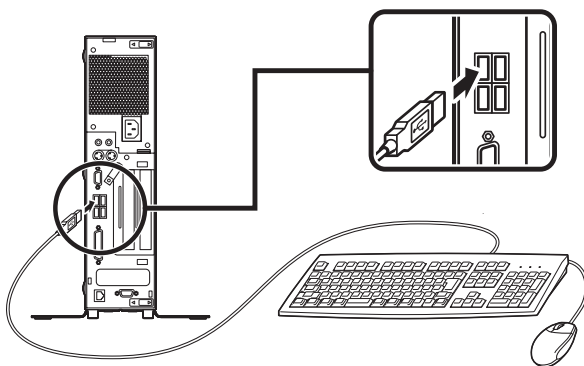
①添付のマウスをキーボード内側のUSBコネクタ( )に接続し、マウスのケーブルをキーボードの溝に固定する

■マウスをキーボード右側に引き出す場合

指紋センサ機能付きUSB小型キーボードにUSBメモリを接続する場合は、キーボード外側の強化USBコネクタ( )に接続してください。また、USBメモリを抜き差しする際にマウスケーブルを圧迫しないようにご注意ください。

■マウスをキーボード左側に引き出す場合

②キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

- 指紋センサ機能付きUSB小型キーボードを本体に接続する際は、二本のケーブルを確実に接続してください。
- 指紋センサ機能付きUSB小型キーボードは、外部ハブを挟んで接続しないでください。

❷ USB 109キーボードを接続する場合

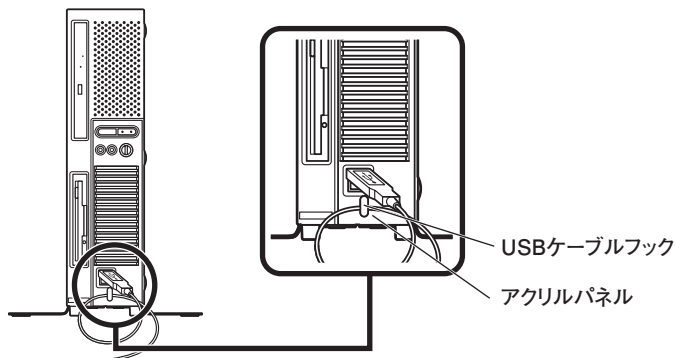
①添付のマウスをキーボードに接続する

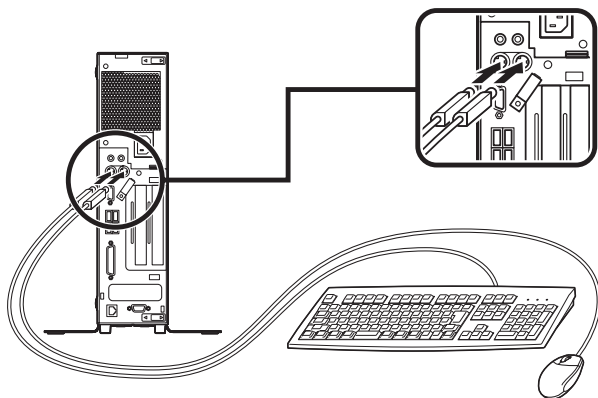
マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。

②キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

■本体(背面)に接続する場合

■本体(前面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

※USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

❸ テンキー付きPS/2小型キーボード、またはPS/2 109キーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

3. ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。(デジタル液晶ディスプレイは、GeForce® 8400 GSまたはデジタルディスプレイ用コネクタボードを選択した場合のみ接続できます。)

お使いのディスプレイにより、❶または❷のいずれかの方法で接続してください。

デュアルディスプレイ機能を使用する場合は、「アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になり、一台目のディスプレイを接続してください。二台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから「8　マニュアルの使用方法」までの作業を行い、「9　使用する環境の設定と上手な使い方」の「5.液晶ディスプレイを二台接続して使用する」をご覧になり、接続してください。

❶ アナログ液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、液晶ディスプレイ(LCD205WXM)がセットになった場合を例に説明します。

GeForce® 8400 GSを選択した場合は、①～④の順番に接続してください。

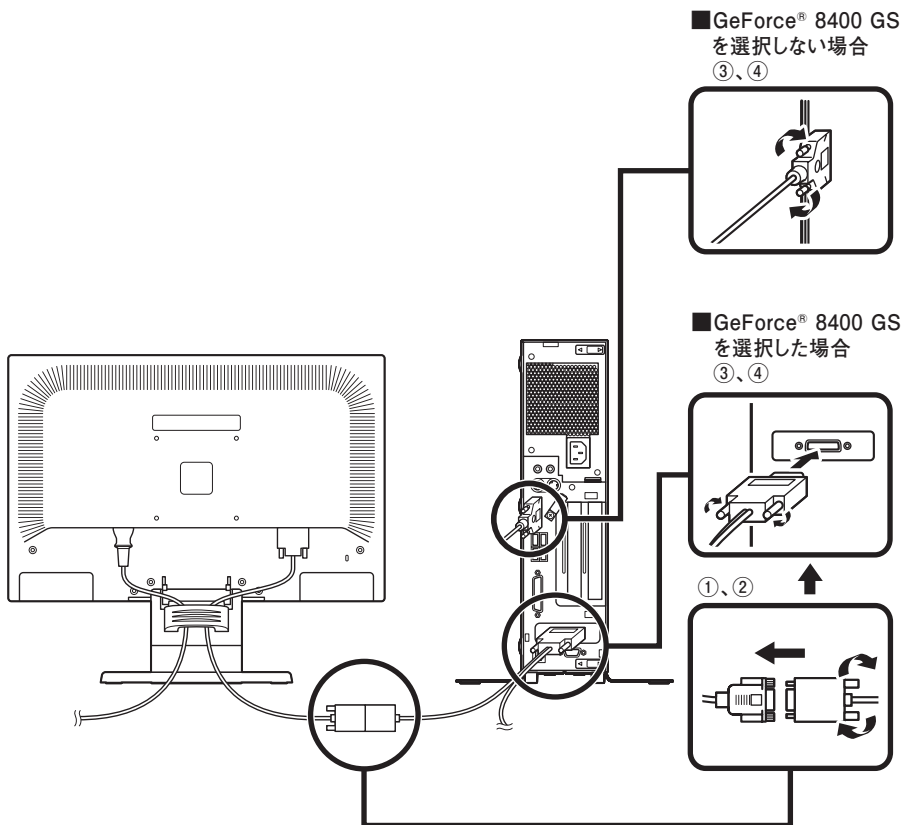
GeForce® 8400 GSを選択しない場合、③～④の順番に接続してください。

①ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、添付されているアナログケーブル(DualView用)のコネクタに接続する

アナログケーブル(DualView用)にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

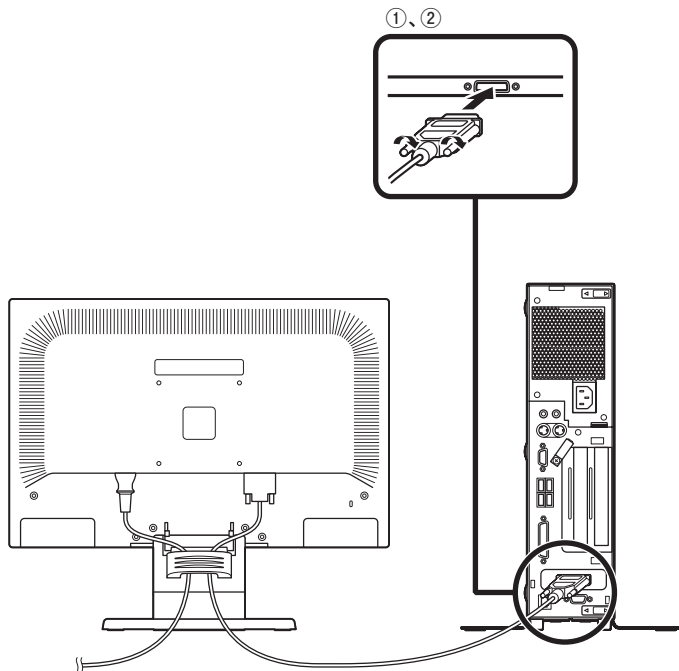
②アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

③GeForce® 8400 GSを選択した場合は、アナログケーブル(DualView用)のもう一方のコネクタを、アイコン( )とコネクタの形状を確認し、本体のGeForce® 8400 GSのコネクタに接続する
GeForce® 8400 GSを選択しない場合は、ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン( )とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

④アナログケーブル(DualView用)、またはアナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

❷ デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、液晶ディスプレイ(LCD205WXM)がセットになった場合を例に説明します。

① ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン( )とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタに接続する

② DVIケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストを見てアース線、電源コードを接続してください。

❶ ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

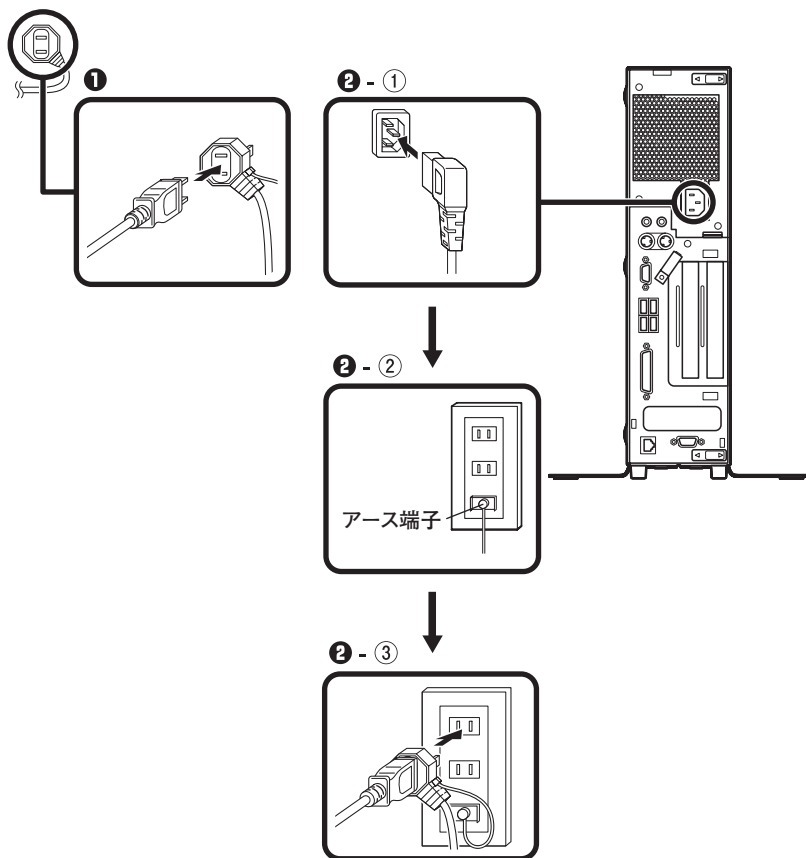
❷ 本体の電源コードを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。

③サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。

以上で「添付品の接続」は完了です。
p.34「6　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

タイプMC（コンパクトタワー型）の場合

1. スタビライザの取り付け

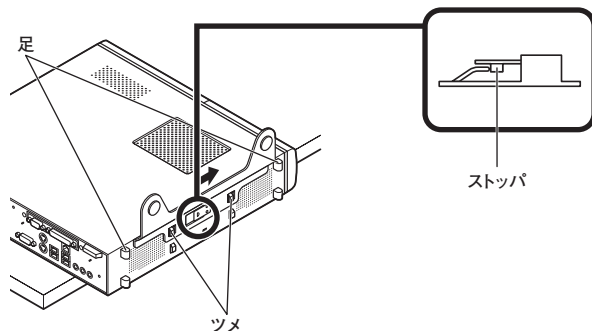
本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザという脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。
横置きで使用する場合は、p.29「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

❶ スタビライザを2つ取り付ける場合

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

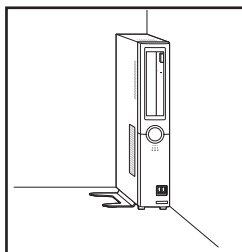
②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

> スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

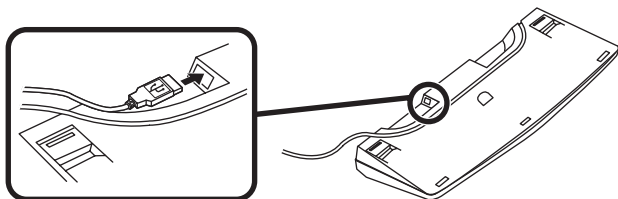
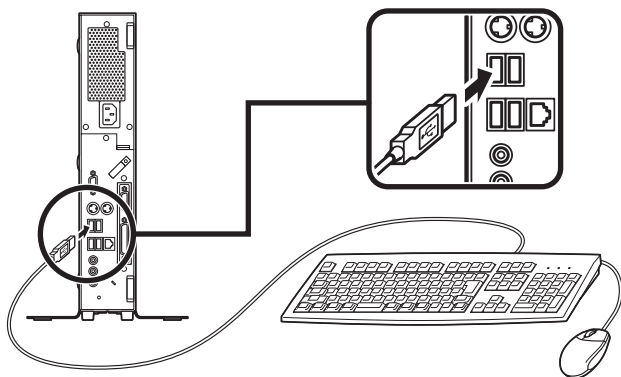
p.27「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などに付けて使用してください。

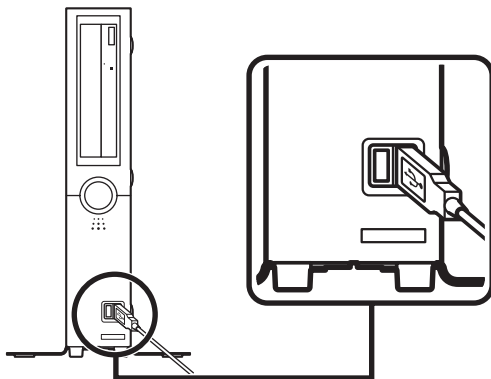
2. マウス、キーボードを接続する

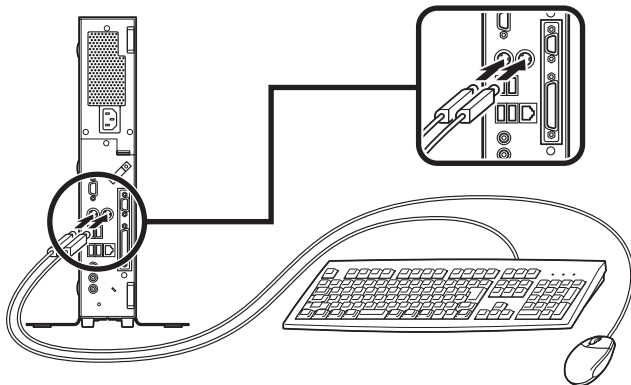
お使いのキーボードにより、❶～❷のいずれかで接続してください。
※本体背面に接続する場合、ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART4　周辺機器の利用」の「ケーブルストッパ」をご覧ください。

❶ USB 109キーボードを接続する場合

①添付のマウスをキーボードに接続する

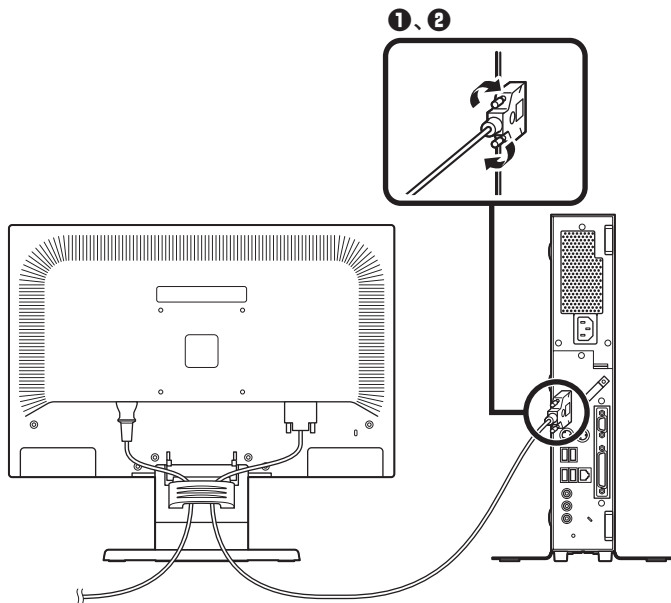
マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。

②キーボードを本体のUSBコネクタに接続する

■本体(背面)に接続する場合

■本体(前面)に接続する場合

❷ テンキー付きPS/2小型キーボードまたはPS/2 109キーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

3. ディスプレイを接続する

ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。
(デジタルディスプレイを接続することはできません。)
ここでは、液晶ディスプレイ(LCD205WXM)がセットになった場合を例に説明します。
❶〜❷の順番に接続してください。

❶ ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(▭)とコネクタの形状を確認し本体のアナログRGBコネクタに接続する

❷ アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

4. アース線、電源コードを接続する

次のページのイラストのようにアース線、電源コードを接続してください。

❶ディスプレイの電源コードのプラグをサービスコンセント付き電源コードに差し込む

ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

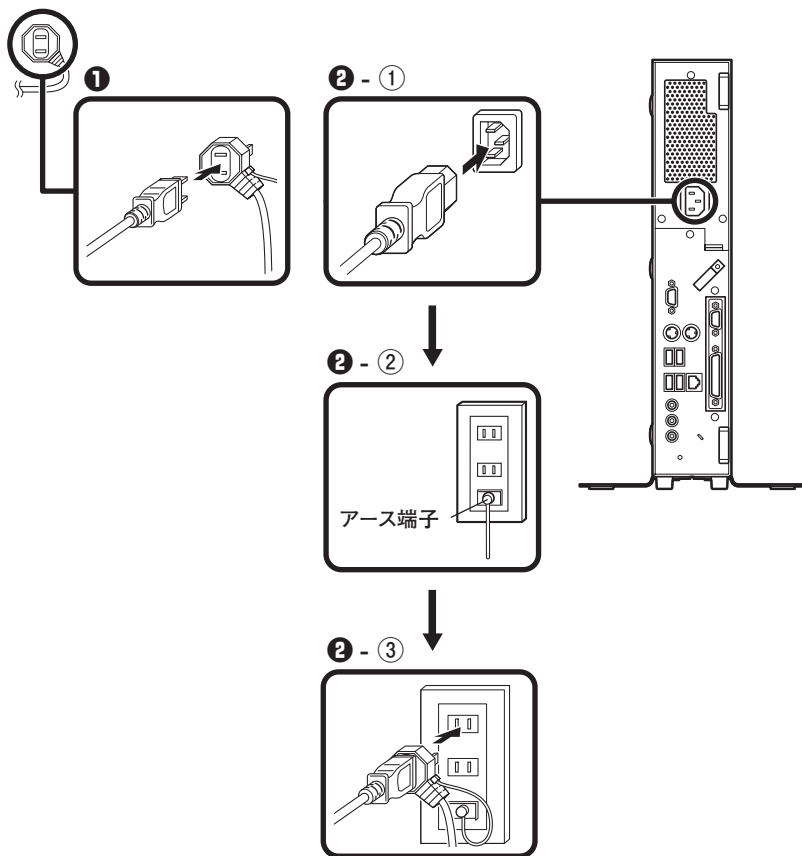
❷本体の電源コードを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源コードを接続する

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

> **アース端子部分にはキャップが付いています。接続するときに取り外してください。**

③サービスコンセント付き電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

> **一度電源が入り、数秒で電源が切れる場合がありますが、故障ではありません。**

以上で「添付品の接続」は完了です。
次の「6　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

6 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。

セットアップをするときの注意

- **周辺機器は接続しない**
  この作業が終わるまでは、「5　添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「6　Windowsのセットアップ」から「9　使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- **LANケーブル(別売)は接続しない**
  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

- **システム設定を変更しない**
  Windowsのセットアップが終了するまではシステム設定を変更しないでください。システム設定を変更すると、Windowsのセットアップが正常に終了しない場合があります。

- **途中で電源を切らない**
  途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

- **セットアップ中は放置しない**
  Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまでセットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.41「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

必ず❶、❷の順番に従って、正しく電源を入れてください。

❶ディスプレイの電源を入れる

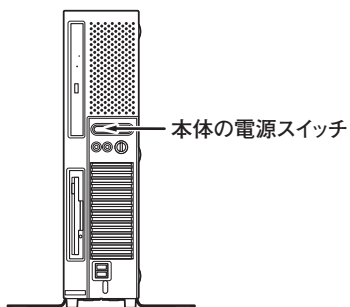
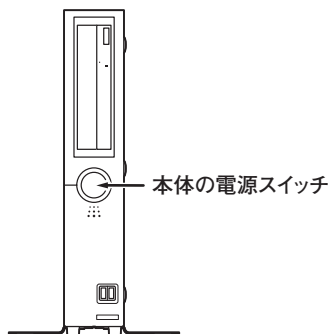
ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

チェック!!

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。
これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。
交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
※:社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を「付録」の「仕様一覧」に記載しています。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

❷本体の電源を入れる

タイプMEの場合、工場出荷時の状態では、音量が最小になっていますので、内蔵スピーカボリュームで音量を調整してください。

■ タイプMEの場合

■ タイプMC(コンパクトタワー型)の場合

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、次の「1. Windows Vistaのセットアップ」、またはp.39「2. Windows XPのセットアップ」に進んでください。

1. Windows Vistaのセットアップ

Windows Vistaのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- お使いのモニタによっては、セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順③～⑤の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「ライセンス条項をお読みになってください」と表示されたら、内容を確認する

をクリックすると、「ライセンス条項」の続きを読むことができます。

❷内容を確認後、「ライセンス条項に同意します」をチェックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❸「ユーザー名と画像の選択」と表示されたら、ユーザー名、パスワードを入力し、さらにユーザーアカウントで使用する画像を選択し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザー名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

❹「コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください」と表示されたら、コンピュータ名を入力し、デスクトップの背景を選択して、「次へ」ボタンをクリック

❺「Windowsを自動的に保護するよう設定してください」と表示されたら、「推奨設定を使用します」、「重要な更新プログラムのみインストールします」、または「後で確認します」のいずれかを選択する

❻「ありがとうございます」と表示されたら、「開始」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

❼ ❸でパスワードを設定した場合は、パスワードを入力する

❽「Windowsの設定が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

「Microsoft Office IME 2007を通常使う日本語入力システムとして設定しますか？」と表示される場合があります。表示された場合は「はい」をクリックしてください。

❾ （「スタート」ボタン）をクリック

❿ （「ロック」ボタン）の横にあるをクリックし、表示されたメニューから「シャットダウン」をクリック

自動的に電源が切れます。

⓫ディスプレイの電源を切る

以上で「Windows Vistaのセットアップ」は完了です。

ファイルなどの破損により、セーフモードや前回正常起動時の構成を使用してもWindowsが正常に起動しないときに備え、あらかじめ「Windows Vista セットアップディスク」を作成することをおすすめします。
（Windowsが正常に起動しないシステムを「Windows Vista セットアップディスク」の機能により修復できる場合があります）
「Windows Vista セットアップディスク」の作成方法は、『活用ガイド　再セットアップ編』を、その他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルの予防」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
p.42「LANケーブルの接続」へ進んでください。

2. Windows XPのセットアップ

Windows XPのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- お使いのモニタによっては、セットアップ中に画面が一部黒く表示される箇所がありますが、動作上問題ありません。
- 手順④～⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックすると、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
（同意しない場合セットアップは続行できません）

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネット接続を確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❿「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザー名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザー名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⑪「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

⑫「Windowsの設定が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリック

⑬「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

⑭「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

⑮ディスプレイの電源を切る

以上で「Windows XPのセットアップ」は完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。p.42「LANケーブルの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

◎ 電源スイッチを押しても電源が入らない

・ **電源コードの接続が不完全であることが考えられるので、一度電源コードをコンセントから抜き、本体と電源コードがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込む**
電源コードを接続し直しても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

◎ セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

・ **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます(CHKDSKは実行されない場合もあります)。
セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージ(「Windows エラー回復処理」画面など)が表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

◎ セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

・ **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する**
いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。また、電源コードを抜いたり、ブレーカーなどが落ちて電源が切れた場合は、電源コードを抜いた状態で90秒以上間隔をあけてから、再度電源コードを接続し、電源を入れてください。その後、上記の「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。次の「LANケーブルの接続」へ進んでください。

LANケーブルの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
LANケーブル(別売)を使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルなどの接続を行ってください。

❶ ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

本機にインストールされているOSでは標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

❷ Windows Update、またはMicrosoft Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Update、またはMicrosoft Updateを定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

・ Windows Vistaでユーザーアカウント名に全角文字が使用されている場合、Microsoft Updateのインストールを行うと「Microsoft Update をコンピュータにインストールできませんでした」と表示されることがあります。
その場合は、管理者権限を持った半角英数字のみのユーザーアカウント名を作成し、Microsoft Updateのインストールを行ってください。
詳しくは、マイクロソフト サポート技術情報-933528をご覧ください。

参照 **マイクロソフトのサポート技術情報について**
「Windows Vista で Microsoft Update をインストールすると“Microsoft Update をコンピュータにインストールできませんでした”というエラーが表示される」
http://support.microsoft.com/kb/933528/jp

・ Windows XPをお使いの場合は、Microsoft Updateについて、詳しくはマイクロソフト サポート技術情報-902296をご覧ください。

参照 **マイクロソフトのサポート技術情報について**
「Microsoft Updateを利用するには」
http://support.microsoft.com/kb/902296/ja/

❸ ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルスバスター)が添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルスバスターをインストールすることを推奨します。

ウイルスバスターはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルスパターンファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルスパターンファイルの無償提供期間はアップデート機能の有効化後、90日間です。引き続きお使いになる場合は、市販のウイルスバスター™ 2008を購入する必要があります。

ウイルスバスターについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルスバスター」をご覧ください。

メモ

・ Windows Vistaのセキュリティ機能(Windowsセキュリティ センター)では、ファイアウォールの設定、自動更新、マルウェア対策ソフトウェアの設定、インターネット セキュリティの設定、ユーザーアカウント制御の設定など、コンピュータ上のセキュリティに関する重要事項の状態をチェックすることができます。詳細は、Windowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。
・ Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティ センター)では、Windowsファイアウォール、Windows Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

LANケーブルを接続する場合は、次の「2. LANケーブル(別売)を接続する」へ進んでください。

2. LANケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

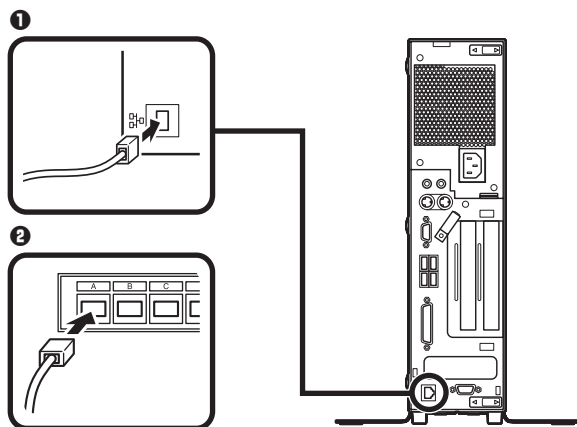
タイプMEの方はこのページを、タイプMC(コンパクトタワー型)の方はp.45をご覧ください。

■タイプMEの場合

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

❶ 本機の電源を切り、LANケーブルのコネクタを本体のアイコン(品)に従って接続する

❷ ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続し、本機の電源を入れる

※LANの設定については、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1　本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。

以上で「LANケーブルの接続」は完了です。

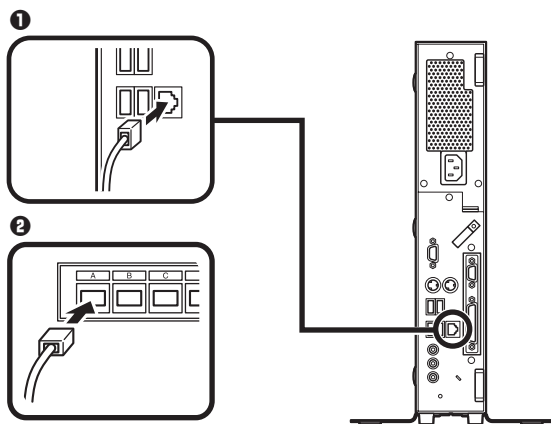
p.46「3. パターンファイルのアップデート」へ進んでください。

■タイプMC（コンパクトタワー型）の場合

LAN（ローカルエリアネットワーク）に接続するときは、LANケーブル（別売）を使い、次の手順で接続します。

❶ 本機の電源を切り、LANケーブルのコネクタを本体のアイコン（品）に従って接続する

❷ ハブやスイッチに、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続し、本機の電源を入れる

※LANの設定については、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1　本体の構成各部」の「LAN（ローカルエリアネットワーク）」をご覧ください。

以上で「LANケーブルの接続」は完了です。

p.47「7　お客様登録」へ進んでください。

3. パターンファイルのアップデート

タイプME(RAIDモデルを除く)のWindows Vistaでは、Windows起動前にウイルスバスターのウイルスパターンファイルをアップデートできるAlways アップデートエージェントを使用することができます。
Always アップデートエージェントは、Windows起動前にパターンファイルのアップデートを行うことができるため、従来と比べウイルス感染の危険性をより低減させることができます。

Always アップデートエージェントは、購入後のWindowsのセットアップ直後、あるいは再セットアップ用DVD-ROMを使用した標準再セットアップ直後のみ追加することができます。Always アップデートエージェントを使用する場合は、運用前(Windowsのセットアップ終了直後)に追加してください。

Always アップデートエージェントの追加/設定方法については、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」の「ALWYSUA」フォルダの「Readme.pdf」をご覧ください。

以上で「パターンファイルのアップデート」は完了です。
次の「7　お客様登録」へ進んでください。

7 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

・ Mate Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からでも、登録することができます。
・ Windows Vistaでは、Microsoft社へのお客様登録は、ウェルカム センターの「Windows のオンライン ユーザー登録をします」で行うことができます。ウェルカム センターは「コントロール パネル」の「システムとメンテナンス」にあります。
・ Windows XPでは、Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上で「お客様登録」は完了です。
次の「8　マニュアルの使用方法」へ進んでください。

8 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate/Mate J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate/Mate J 電子マニュアル」の使用方法については、p.49「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『活用ガイド　再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編』　※

本体の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※

アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(利用できるOSはモデルによって異なります)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●ディスプレイのユーザーズマニュアル

液晶ディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(p.3「2　型番を控える」をご覧ください)。ディスプレイを利用するときに、必ずお読みください。

●選択アプリケーションのマニュアル

Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007、またはOffice Professional 2007を選択した場合、マニュアルが添付されています(p.3「2　型番を控える」をご覧ください)。アプリケーションを利用するときにお読みください。

●『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』

モデルによって、『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』が添付されています(p.3「2　型番を控える」をご覧ください)。指紋センサを利用するときにお読みください。

●『セキュリティチップ ユーティリティ マニュアル』　※

本機のセキュリティチップ機能について確認したいときにお読みください。

●『保証規定＆修理に関するご案内』

パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ＆A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

❶ **DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、DVDスーパーマルチドライブ、またはブルーレイディスクドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする**

❷ **<Windows Vistaの場合>**
「スタート」ボタン→「コンピュータ」をクリック

<Windows XPの場合>
「エクスプローラ」、または「マイ コンピュータ」を開く

❸ **BD/DVD/CDドライブのアイコンをダブルクリック**

❹ **「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック**

「Mate/Mate J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクにコピーしてご利用ください。
  「_manual」フォルダをハードディスクにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。
  http://nec8.com/
  「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の「製品マニュアル」にある「PC98-NXシリーズ電子マニュアルビューア」から電子マニュアルビューアをご覧ください。
  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。
  http://pcm.mepros.com/

以上で「マニュアルの使用方法」は完了です。
次の「9　使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

9 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用・管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』、『活用ガイド　ソフトウェア編』、および『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には、本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや、マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので、削除しないでください。以下の方法でお読みください。

- ・「Mate/Mate J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
- ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2. 再セットアップ用媒体の作成について

Windows VistaでDVDスーパーマルチドライブまたはブルーレイディスクドライブを搭載したモデルをお使いの方は、再セットアップ用データを市販のDVD-R媒体に書き込み、「再セットアップ用DVD-ROM」を作成することができます。

再セットアップ用媒体の作成機能については、出荷時の製品構成でのみサポートしております。
再セットアップ用媒体を作成する場合は、必ずService Packの変更やRoxio Creator LJBのアップデート前に行ってください。

ハードディスクが故障したり、ハードディスク内にある再セットアップ用データを消去した場合、ハードディスクから再セットアップすることができなくなります。このような場合に備え、再セットアップ用媒体を作成しておくことをおすすめします。
再セットアップ用媒体の作成についての詳細は『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

3. Windows Vista SP1について

Windows Vistaには「Windows Vista® Service Pack 1 (SP1)」(以下、Windows Vista SP1)がインストールされています。
Windows Vista SP1を削除することにより、Windows Vista SP1で修正されていた問題が発生する可能性がありますので、Windows Vista SP1を削除する場合は十分に注意してください。

削除方法の詳細については『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「「Windows Vista SP1」について」をご覧ください。

4. Windows XP Service Packについて

Windows XPにはService Pack 3がインストールされています。
Service Packを削除した場合、Service Pack、およびWindows XP 修正プログラムで修正されていた問題が発生する可能性があります。また、Service Pack、およびWindows XP 修正プログラムで追加されていた機能が使用できなくなります。Service Packをいったん削除すると再追加には、本機を再セットアップする必要がありますので、Service Packの削除には十分ご注意ください。削除方法の詳細については『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「「Service Pack」について」をご覧ください。

5. 液晶ディスプレイを二台接続して使用する

デュアルディスプレイ機能について

タイプMEでGeForce® 8400 GSを選択した場合、アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用することができます。電源が入っている場合は、電源を切り、「5　添付品の接続」の「3.ディスプレイを接続する」の「❶アナログ液晶ディスプレイを接続する場合」をご覧になり、一台目のディスプレイと同様の手順で、二台目のディスプレイを接続してください。デュアルディスプレイ機能の設定については、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1 本体の構成各部」の「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能を使う」をご覧ください。

6. 液晶ディスプレイの調整

液晶ディスプレイの調整について

文字がにじむときや縦じま状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、ディスプレイを調整してください。

■液晶ディスプレイ(LCD73VXM-V、LCD93VXM-V、LCD194WXM-V、LCD205WXM)をデジタル液晶ディスプレイとして使用した場合

画面の位置、サイズなどの調整は必要ありません。

■アナログ液晶ディスプレイ(LCD52VM-V)、または液晶ディスプレイ(LCD73VXM-V、LCD93VXM-V、LCD194WXM-V、LCD205WXM)をアナログ液晶ディスプレイとして使用した場合

ディスプレイ本体のオートアジャスト機能で調整してください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

7. 不正使用／盗難防止について

スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏えいを防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能／マネジメント機能」をご覧ください。

8. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

❶ Intel® Matrix Storage Console

Intel® Matrix Storage Consoleは、RAIDシステムを管理するユーティリティです。RAIDシステムのすべての操作ステータスを監視できます。データの変更や保存の際に、搭載した2台のハードディスクドライブにリアルタイムでデータの書き換えを実行し、データを二重化して保存します。万一1台目のハードディスクドライブでディスククラッシュなどのハードウェア障害が発生しても、もう一方のハードディスクドライブで継続動作できます。

Intel® Matrix Storage Consoleは、p.10 2-❽の「増設ハードディスクオプション」で「ミラーリングSerial ATA RAID」を選択した場合のみ使用できます。詳しくは、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART1　本体の構成各部」の「ハードディスク(RAIDモデルの場合)」、および「Mate/Mate J　電子マニュアル」の「「Intel® Matrix Storage Console」について」をご覧ください。

なお、Intel® Matrix Storage Consoleは、RAIDモデルのみ使用できます。

❷ FlyFolder

データファイルをファイルサーバや外部記憶媒体などに自動的にバックアップすることができます。

FlyFolderはタイプMEのWindows Vista Businessでのみ使用できます。

詳しくは、「FlyFolder CD-ROM」の「FlyFolder¥manual」フォルダの「FlyFolder User's Manual.pdf」をご覧ください。

❸ Roxio BackOnTrack LE

Roxio BackOnTrack LEは、BD-Rなどの対応している媒体にシステムを含めたハードディスク全体をバックアップすることができます。万一システムが起動しなくなった場合も、比較的短時間でバックアップ時の環境に復元し、システムを復旧させることができます。

Roxio BackOnTrack LEは、タイプMEのWindows Vista Businessでブルーレイディスクドライブを選択した場合のみ使用できます。詳しくは、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Roxio BackOnTrack LE」をご覧ください。

❹ Standby Rescue Multi

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクの内容を、もう一方のハードディスクにバックアップできます。
バックアップをとることにより、運用中のハードディスクドライブに障害が起きたときに、バックアップのハードディスクからシステムを起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。
Standby Rescue Multiは、p.10 2-❽の「増設ハードディスクオプション」で「Standby Rescue Multi」を選択した場合のみ添付されます。
詳しくは、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Standby Rescue Multi」をご覧ください。

9. セキュリティの設定

❶ セキュリティチップ ユーティリティ

セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化(EFS)機能、Personal Secure Drive(PSD)機能を利用できます。
本体にハードウェア的にTPM(Trusted Platform Module)と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。
また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り外して持ち出されてもデータを読みとられることはありません。
詳しくは、「Mate/Mate J電子マニュアル」の「セキュリティチップ ユーティリティ マニュアル」をご覧ください。
なお、セキュリティチップ ユーティリティは、タイプMEのみ使用できます。

❷ NASCA(NEC Authentication Agent)

NASCAは、指紋、FeliCa対応カード、USBメモリなど、複数の認証デバイスを使用した高度な個人認証機能を提供します。
認証を受けていない第三者が本機を使用することを防止したり、Webサイトへのアクセスやアプリケーションの実行に必要な情報(パスワードなど)を自動的に保存、入力することができます。
保存された情報は、セキュリティチップと連携することによって、安全に管理されます。
詳しくは、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」の「NASCA」フォルダの「NASCA User's Guide.pdf」をご覧ください。
なお、NASCAはタイプMEのみ使用できます。また、NASCAを使用できる認証デバイスは、セレクションメニューで選択したデバイスのみです。

❸暗号化ファイルシステム(EFS)

EFS(Encrypting File System)は、Windows Vista Business、Windows XP Professionalの標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザ以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。
また、Windows Vista Business、Windows XPでは、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」を使用することにより、暗号化ファイルシステムを簡単に設定できます。
詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ハードディスク暗号化ユーティリティ」をご覧ください。

❹指紋認証機能

指紋認証機能とはパスワードの入力の代わりに、指紋センサを使って指紋による認証を行うシステムです。
この機能は、タイプMEで「指紋センサ機能付きUSB小型キーボード」を選択した場合のみ使用でき、本機ではNASCAと連携して、Windowsのセキュリティを強化できます。
詳しくは、『指紋センサ(ライン型) ユーザーズガイド』をご覧ください。

❺FeliCaカード認証機能

NASCAと連携し、FeliCaに対応したカードを利用して、Windowsログオンやスクリーンセーバーのロック解除などを行うことができます。
詳しくは、『FeliCaポートマニュアル』をご覧ください。『FeliCaポートマニュアル』は、「FeliCa Secure Client / FeliCaポート自己診断 CD-ROM」の「f_manual」の「index.htm」をダブルクリックすると表示されます。
なお、FeliCaカード認証機能*は、タイプMEで「FeliCaポート(外付け)」を選択した場合のみ使用できます。

＊Edy機能を搭載したFeliCaカードによる認証が可能。

❻ユーザーアカウント制御

Windows Vistaでは、アプリケーションを起動したり、本機を操作しているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。
「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意あるソフトウェア」によって、本機のシステムに影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものかを確認するためのものです。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。

「ユーザー アカウント制御」画面で管理者権限を持つユーザーのパスワード入力が求められる場合があります。その場合は、画面の内容を確認し入力を行ってください。

詳しくは「ヘルプとサポート」の「セキュリティとメンテナンス」-「ユーザーアカウント制御」をご覧ください。

10. 上手な使い方

❶ トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。トラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルの予防」をご覧ください。

❷ 本機のお手入れ

本機を安全かつ快適に使用するためには、電源コードやマウスなど定期的にお手入れすることをおすすめします。詳しくは、お使いの機種の『活用ガイド　ハードウェア編』の「PART7　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

10 付録　機能一覧

仕様一覧

1.タイプME

型名*1			MY28G/E-6 MY28F/E-6 MJ28F/E-6	MY33B/E-6 MY33A/E-6 MJ33A/E-6	MY31B/E-6 MY31A/E-6 MJ31A/E-6
CPU			インテル® Core™2 Quad プロセッサー Q9550	インテル® Core™2 Duo プロセッサー E8600	インテル® Core™2 Duo プロセッサー E8500
	クロック周波数		2.83GHz	3.33GHz	3.16GHz
	キャッシュメモリ	1次	インストラクション用32KB×4/データ用32KB×4	インストラクション用32KB×2/データ用32KB×2	
		2次	6MB×2	6MB	
システムバス			1,333MHz(メモリバス:1,066MHz)		
チップセット			インテル® Q45 Express チップセット		
セキュリティチップ*2			TPM v1.2準拠		
最大メモリ(メインメモリ)			4GB [DIMMスロット×2] *28		
表示機能	グラフィックアクセラレータ		インテル® GMA 4500(チップセットに内蔵)		
		ビデオRAM	最大96 ～ 1,421MB *35(Windows Vista®の場合)、最大256MB *35(Windows® XPの場合)		
	表示色(解像度) *29		最大1,677万色 *3(1,600×1,200ドット<UXGA> *4、1,680×1,050ドット<WSXGA+> *4、1,280×1,024ドット<SXGA> *4、1,440×900ドット<WXGA+> *4、1,024×768ドット<XGA>、800×600ドット<SVGA>)		
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット *44、ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル *36、ビームフォーミング *37)		
	スピーカ/スピーカ定格出力		アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵/1W *5		
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載		
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Remote Power On機能標準装備、インテル® AMT5.0対応		
インターフェイス	USB(USB2.0 *8)		6(本体前面×2、本体背面×4)[USB接続キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済。指紋センサ機能付きUSB小型キーボード選択時、2ポートをキーボードで占有済]		
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応		
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1		
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン×1 *46		
		DVI	― *46 *47		
	PS/2		ミニDIN6ピン×2[PS/2接続キーボード選択時、キーボードおよびマウスで占有済]		
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1		
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1 *38(マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧2.5V)		
		ライン入力	ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス20kΩ、入力レベル1Vrms)		
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
		ライン出力	ステレオミニジャック×1(出力インピーダンス22kΩ、出力レベル 1Vrms)		
ベイ	内蔵3.5型ベイ[空き]		2スロット(標準HDDで1スロット占有済) [1] *23		
拡張スロット	PCIスロット[空き]		1スロット(ハーフ *11) [1]		
	PCI Express x1スロット[空き]		1スロット(ハーフ *11) [1]		
	PCI Express x16スロット[空き]		1スロット(Low Profile *12) (NVIDIA® GeForce® 8400 GSまたはデジタルディスプレイ用コネクタボード選択時、グラフィック系ボードで占有済) [1]		
電源			AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)		

型名*[1]	MY28G/E-6 MY28F/E-6 MJ28F/E-6	MY33B/E-6 MY33A/E-6 MJ33A/E-6	MY31B/E-6 MY31A/E-6 MJ31A/E-6
消費電力*[13](最大構成時*[22]) ※Windows Vista® Businessの測定値	約43W(最大約177W)	約41W(最大約176W)	約42W(最大約175W)
消費電力*[13](最大構成時*[22]) ※Windows® XP Professionalの測定値	約43W(最大約175W)	約41W(最大約173W)	約42W(最大約170W)
皮相電力*[13](最大構成時*[22]) ※Windows Vista® Businessの測定値	約44VA(最大約181VA)	約42VA(最大約180VA)	約43VA(最大約179VA)
皮相電力*[13](最大構成時*[22]) ※Windows® XP Professionalの測定値	約44VA(最大約179VA)	約42VA(最大約177VA)	約43VA(最大約174VA)
エネルギー消費効率(2007年度省エネ達成率)*[14] ※Windows Vista® Businessの測定値	j区分 0.00027(AAA)	j区分 0.00044(AAA)	j区分 0.00047(AAA)
エネルギー消費効率(2007年度省エネ達成率)*[14] ※Windows® XP Professionalの測定値	j区分 0.00027(AAA)	j区分 0.00044(AAA)	j区分 0.00047(AAA)
電波障害対策	VCCI ClassB		
外形寸法(本体)	88(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含まず)、 218(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含む)*[16]		
質量(本体)*[15]	約8.5kg		
温湿度条件	10 ～ 35℃ 、20 ～ 80%(ただし結露しないこと)		
インストール可能OS*[17]*[18]	Windows Vista® Enterprise(SP1)/Business(SP1)、 Windows® XP Professional(SP3)		
主な添付品	サービスコンセント付き電源コード、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他		

型名*1			MY30B/E-6 MY30A/E-6 MJ30A/E-6	MY22M/E-6 MY22L/E-6 MJ22L/E-6	MY18W/E-6 MY18X/E-6 MJ18X/E-6
CPU			インテル® Core™2 Duo プロセッサー E8400	インテル® Pentium® デュアルコア・プロセッサー E2200	インテル® Celeron® プロセッサー 430
	クロック周波数		3GHz	2.20GHz	1.80GHz
	キャッシュメモリ	1次	インストラクション用32KB×2/データ用32KB×2		インストラクション用32KB/データ用32KB
		2次	6MB	1MB	512KB
システムバス			1,333MHz(メモリバス:1,066MHz)	800MHz(メモリバス:800MHz)	
チップセット			インテル® Q45 Express チップセット		
セキュリティチップ*2			TPM v1.2準拠		
最大メモリ(メインメモリ)			4GB [DIMMスロット×2] *28		
表示機能	グラフィックアクセラレータ		インテル® GMA 4500(チップセットに内蔵)		
		ビデオRAM	最大96 ～ 1,421MB*35(Windows Vista®の場合)、最大256MB*35(Windows® XPの場合)		
	表示色(解像度)*29		最大1,677万色*3(1,600×1,200ドット<UXGA>*4、1,680×1,050ドット<WSXGA+>*4、1,280×1,024ドット<SXGA>*4、1,440×900ドット<WXGA+>*4、1,024×768ドット<XGA>、800×600ドット<SVGA>)		
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット*44、ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル*36、ビームフォーミング*37)		
	スピーカ/スピーカ定格出力		アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵/1W*5		
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載		
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Remote Power On機能標準装備、インテル® AMT5.0対応	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Remote Power On機能標準装備	
インターフェイス	USB(USB2.0*8)		6(本体前面×2、本体背面×4)[USB接続キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済。指紋センサ機能付きUSB小型キーボード選択時、2ポートをキーボードで占有済]		
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応		
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1		
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン×1*46		
		DVI	―*46*47		
	PS/2		ミニDIN6ピン×2[PS/2接続キーボード選択時、キーボードおよびマウスで占有済]		
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1		
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1*38(マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧2.5V)		
		ライン入力	ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス20kΩ、入力レベル1Vrms)		
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(対応ヘッドフォンインピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
		ライン出力	ステレオミニジャック×1(出力インピーダンス22kΩ、出力レベル 1Vrms)		
ベイ	内蔵3.5型ベイ[空き]		2スロット(標準HDDで1スロット占有済) [1]*23		
拡張スロット	PCIスロット[空き]		1スロット(ハーフ*11)[1]		
	PCI Express x1スロット[空き]		1スロット(ハーフ*11)[1]		
	PCI Express x16スロット[空き]		1スロット(Low Profile*12) (NVIDIA® GeForce® 8400 GSまたはデジタルディスプレイ用コネクタボード選択時、グラフィック系ボードで占有済) [1]		
電源			AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)		
消費電力*13(最大構成時*22) ※Windows Vista® Businessの測定値			約41W(最大約166W)	約40W(最大約170W)	約38W(最大約162W)
消費電力*13(最大構成時*22) ※Windows® XP Professionalの測定値			約41W(最大約163W)	約40W(最大約166W)	約38W(最大約160W)
皮相電力*13(最大構成時*22) ※Windows Vista® Businessの測定値			約42VA(最大約170VA)	約41VA(最大約174VA)	約39VA(最大約166VA)
皮相電力*13(最大構成時*22) ※Windows® XP Professionalの測定値			約42VA(最大約167VA)	約41VA(最大約170VA)	約39VA(最大約164VA)
エネルギー消費効率(2007年度省エネ達成率)*14 ※Windows Vista® Businessの測定値			j区分 0.00047(AAA)	j区分 0.00065(AAA)	j区分 0.0015(AA)

型名*1	MY30B/E-6 MY30A/E-6 MJ30A/E-6	MY22M/E-6 MY22L/E-6 MJ22L/E-6	MY18W/E-6 MY18X/E-6 MJ18X/E-6
エネルギー消費効率(2007年度省エネ達成率)*14 ※Windows® XP Professionalの測定値	j区分 0.00047(AAA)	j区分 0.00065(AAA)	j区分 0.0015(AA)
電波障害対策	VCCI ClassB		
外形寸法(本体)	88(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含まず)、 218(W)×327(D)×345(H)mm(スタビライザ含む)*16		
質量(本体)*15	約8.5kg		
温湿度条件	10 ～ 35℃ 、20 ～ 80%(ただし結露しないこと)		
インストール可能OS*17*18	Windows Vista® Enterprise(SP1)/Business(SP1)、 Windows® XP Professional(SP3)		
主な添付品	サービスコンセント付き電源コード、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他		

＊ 1: セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
＊ 2: プリインストールのWindows Vista® BusinessまたはWindows® XP Professional以外では使用できません。
＊ 3: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
＊ 4: グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
＊ 5: 内蔵スピーカはシステムのアラームを通知することを考慮して実装しています。オーディオ再生等の際は、別途スピーカまたはヘッドフォンを使用してください。
＊ 8: USB接続キーボードのUSBハブを経由すると、USB転送速度が最大12Mbpsに制限されます。
＊ 11: 搭載可能なボードサイズは、106(W)×176(D)mm以内となります。
＊ 12: 搭載可能なボードサイズは、64(W)×167(D)mm以内となります。
＊ 13: メモリ1GB(512MB×2)、HDD 80GB(増設HDDなし)、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、FDDあり、PS/2 109キーボード、PS/2マウス(ボール)、PCI Expressグラフィックアクセラレータなしの構成で測定しています。
＊ 14: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
＊ 15: メモリ1GB(512MB×2)、HDD 80GB(増設HDDなし)、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、FDDあり、PCI Expressグラフィックアクセラレータなしの構成での質量です。(キーボード、マウスの質量は含みません)
＊ 16: 縦置き時の足以外の突起物は含みません。
＊ 17: 「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
＊ 18: インストール可能OS用ドライバは本体に添付していません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の「ダウンロード」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」→「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」に順次掲載します。なお、インストール可能OSを利用する際、インストール/添付アプリケーションや一部の機能が使用できない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
＊ 22: 最大構成時の値は、セレクションメニューで選択可能な最大構成に加え、拡張ポートおよび拡張スロットをすべて占有した状態で算出した値です。
＊ 23: 増設HDD選択時は空きベイはありません。
＊ 28: 最大4GBのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイス等のメモリ領域を確保するために、全ての領域を使用することはできません。なお、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。
＊ 29: セレクションメニューで選択可能なディスプレイの最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。
＊ 35: ビデオRAMは、メインメモリを使用します。ビデオRAM容量は、搭載するメインメモリの容量によって異なります。
＊ 36: 録音中にスピーカが引き起こすハウリングを軽減する機能です。
＊ 37: ステレオマイク使用時にこの機能を有効にすると、マイクを向けていない方向からのノイズを軽減させることができます。
＊ 38: パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
＊ 44: 使用出来る量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
＊ 46: セレクションメニューにて「グラフィック系ボード」を選択しない場合。GeForce® 8400 GSを選択した場合はボード搭載の専用コネクタ(DMS-59コネクタ)にボード添付のGeForce® 8400 GS用アナログディスプレイケーブルを使用し、ミニD-sub15ピン×2の構成となります(I/Oプレート部搭載のアナログコネクタは使用できません)。デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)を選択した場合はI/Oプレート部搭載のアナログコネクタ(ミニD-sub15ピン)との同時使用は未サポートです。
＊ 47: セレクションメニューにてデジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)を選択した場合は、デジタルフラットパネル信号出力(TMDS)(DVI-D24ピン×1)とI/Oプレート部搭載のアナログコネクタ(ミニD-sub15ピン×1)の構成となります(同時使用は未サポートです)。

◆セレクションメニュー*51

型名*1			MY28G/E-6　MY31B/E-6　MY22M/E-6 MY28F/E-6　MY31A/E-6　MY22L/E-6 MJ28F/E-6　MJ31A/E-6　MJ22L/E-6 MY33B/E-6　MY30B/E-6　MY18W/E-6 MY33A/E-6　MY30A/E-6　MY18X/E-6 MJ33A/E-6　MJ30A/E-6　MJ18X/E-6
再セットアップ用データ*52	標準		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53(Windows Vista®インストールを選択した場合のみ*87)
	選択可能		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53(Windows Vista®インストールを選択した場合のみ*87)&再セットアップ用媒体添付*86
グラフィック系ボード	ディスプレイ用コネクタ		デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)*77
		ビデオRAM	最大96 ～ 1,421MB*85(Windows Vista®の場合)、最大256MB*85(Windows® XPの場合)
	グラフィックアクセラレータ		NVIDIA® GeForce® 8400 GS (PCI Express x16)
		ビデオRAM	最大320 ～ 1,663MB*89(Windows Vista®の場合)、256MB(メインメモリ512MBの場合)、最大512MB(メインメモリ1,024MB以上の場合)*90(Windows® XPの場合)
メモリ*55	512MB		DDR3-SDRAM、PC3-8500*56、512MB DIMM×1
	1GB		DDR3-SDRAM、PC3-8500*56、512MB DIMM×2*57
	1GB		DDR3-SDRAM、PC3-8500*56、1,024MB DIMM×1
	2GB		DDR3-SDRAM、PC3-8500*56、1,024MB DIMM×2*57
	2GB		DDR3-SDRAM、PC3-8500*56、2,048MB DIMM×1
	4GB		DDR3-SDRAM、PC3-8500*56、2,048MB DIMM×2*57
FDD			3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*80
ハードディスク	80GB		約80GB*58、Serial ATA/300、7,200rpm、SMART機能対応
	160GB		約160GB*58、Serial ATA/300、7,200rpm、SMART機能対応
	320GB		約320GB*58、Serial ATA/300、省電力ドライブ、5,400rpm、SMART機能対応
	80GB×2*59		約80GB*58×2、Serial ATA/300、7,200rpm、SMART機能対応
	160GB×2*59		約160GB*58×2、Serial ATA/300、7,200rpm、SMART機能対応
	320GB×2*59		約320GB*58×2、Serial ATA/300、省電力ドライブ、5,400rpm、SMART機能対応
ミラーリング(RAID 1)			インテル® マトリクス・ストレージ・テクノロジー
BD/DVD/CDドライブ*61*62	DVD-ROM(薄型)*64		CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(2層)読み込み:最大8倍速*60、DVD+R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69
	CD-R/RW with DVD-ROM(薄型)*64*65*66		CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD-R(2層)読み込み:最大4倍速*60、DVD+R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大4倍速、DVD+RW読み込み:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69
	DVDスーパーマルチドライブ(薄型)*64*65*66		CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大4倍速*60、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速*72、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*69*71
	ブルーレイディスクドライブ(薄型)*64*65*66*92*95		CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大16倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大6倍速*60、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速*72、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大6倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大6倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*69*71、BD-ROM読み込み:最大4倍速、BD-R(1層)読み込み:最大4倍速*93、BD-R(1層)書き込み:最大4倍速*93、BD-R(2層)読み込み:最大2倍速*93、BD-R(2層)書き込み:最大2倍速*93、BD-RE(1層)読み込み:最大2倍速、BD-RE(1層)書き換え:最大2倍速*94、BD-RE(2層)読み込み:最大2倍速、BD-RE(2層)書き換え:最大2倍速*94
USBメモリ			512MB(USB2.0対応)
セキュリティ機能	FeliCaポート*74		FeliCaポート(外付け)(USB接続、ケーブル長:約70cm)。OSログオン時、スクリーンセーバ解除時などにEdy機能を搭載したFeliCaカードによる認証が可能。

型名*[1]		MY28G/E-6　MY31B/E-6　MY22M/E-6 MY28F/E-6　MY31A/E-6　MY22L/E-6 MJ28F/E-6　MJ31A/E-6　MJ22L/E-6 MY33B/E-6　MY30B/E-6　MY18W/E-6 MY33A/E-6　MY30A/E-6　MY18X/E-6 MJ33A/E-6　MJ30A/E-6　MJ18X/E-6
キーボード・マウス	PS/2 109キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付
	テンキー付きPS/2小型キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:384(W)×154(D)×36(H)mm、質量:約0.8kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付
	USB 109キーボード & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*[75]、USBインターフェイス、外形寸法::472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式*[76]、スクロールホイール付き)添付
	指紋センサ機能付きUSB小型キーボード*[74] & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、指紋センサ内蔵、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*[75]*[91]、USBインターフェイス、外形寸法:435(W)×165(D)×41(H)mm、質量:約1.1kg、USBマウス(光センサー式*[76]、スクロールホイール付き)添付

＊ 51: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っていません。
＊ 52: セレクションによっては、再セットアップ用媒体は添付されていません。再セットアップ用バックアップ媒体の購入方法は http://nx-media.ssnet.co.jp/ をご参照ください。
＊ 53: HDD内の約4GBを再セットアップ領域として使用しています。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をDVD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでブルーレイディスクドライブまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。
＊ 55: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊ 56: MY22M/E-6、MY18W/E-6、MY22L/E-6、MY18X/E-6、MJ22L/E-6およびMJ18X/E-6ではメモリバス800MHz(PC3-6400相当)で動作します。
＊ 57: デュアルチャネルに対応します。
＊ 58: 40GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済みです。また、Windows Vista®インストールモデルでは最後の約4GBを再セットアップ領域として使用しています。
＊ 59: セレクションメニューにてStandby Rescue Multiありを選択した場合、増設HDDは未フォーマットです。
Standby Rescue Multiを選択されない場合は、増設HDDはNTFSでフォーマット済みです。
＊ 60: 追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読み込みはサポートしていません。
＊ 61: メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊ 62: コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊ 64: DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD® for NEC」が添付されます。
＊ 65: 書き込みツール「Roxio Creator LJB」が添付されます。
＊ 66: バッファアンダーランエラー防止機能付きです。
＊ 67: DVD-RはDVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 68: DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 69: DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)はサポートしていません。また、Windows® XP標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。なお、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出して使用してください。
＊ 71: DVD-RAM12倍速メディアの書き込みはサポートしていません。
＊ 72: DVD-R(2層)書き込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したメディアの書き込みに対応しています。ただし追記には未対応です。
＊ 74: プリインストールのWindows Vista® Business、Windows® XP Professionalで使用可能です(再セットアップ用媒体/再セットアップ用バックアップイメージを使用して再セットアップしたOSを含む)。
＊ 75: USBコネクタから100mA以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0は非サポートです。
＊ 76: 光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
＊ 77: デジタルディスプレイ用コネクタボードを選択した場合は、チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータ機能を使用します。
＊ 80: 1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要です(標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマットはできません。
＊ 85: ビデオRAMは、メインメモリを使用します。ビデオRAM容量は、搭載するメインメモリの容量によって異なります。
＊ 86: 再セットアップOSがWindows Vista®の場合はDVD-ROM、Windows® XPの場合はCD-ROMでの提供となります。
＊ 87: Windows XP Professionalインストールサービス適用を選択した場合、再セットアップ用媒体選択の有無に関わらず、再セットアップ用バックアップイメージのHDD格納はありません。
＊ 89: ビデオRAMのうち256MBはグラフィックボード上のメモリを使用します。また、システム全体とグラフィックスの負荷状態に応じて、メインメモリの領域を動的に使用します。使用可能なグラフィックスメモリの総容量は搭載するメインメモリの容量によって異なります。また、ディスプレイドライバ変更により総容量が変わる場合があります。使用可能なグラフィックスメモリの総容量とは、Windows Vista®上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。

＊ 90: うち256MBはボード搭載のメモリを使用します。またシステム全体とグラフィックスの負荷状態に応じて、メインメモリから0 ～ 256MB（メインメモリ1,024MB以上の場合は最大256MB）の領域を動的に使用します。
＊ 91: USBポートのうち、右側面1ポートは挿抜耐性を強化したコネクタを採用しています。
＊ 92: ブルーレイディスクタイトルの再生はできません。
＊ 93: BD-R Ver.1.1/1.2/1.3（LTH Type含む）に準拠したディスクに対応しています。
＊ 94: BD-RE Ver.2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。カートリッジタイプのブルーレイディスクには対応していません。
＊ 95: バックアップツール「Roxio BackOnTrack™ LE」が添付されます。

2.タイプMC(コンパクトタワー型)

項目			MY22L/C-6	MJ22L/C-6	MY18X/C-6	MJ18X/C-6
型名*1			MY22L/C-6	MJ22L/C-6	MY18X/C-6	MJ18X/C-6
CPU			インテル® Pentium® デュアルコア・プロセッサー E2200		インテル® Celeron® プロセッサー 430	
	クロック周波数		2.20GHz		1.80GHz	
	キャッシュメモリ	1次	インストラクション用32KB×2/ データ用32KB×2		インストラクション用32KB/ データ用32KB	
		2次	1MB		512KB	
システムバス			800MHz(メモリバス:800MHz)			
チップセット			NVIDIA® GeForce® 7100/NVIDIA nForce® 630i			
最大メモリ(メインメモリ)			2GB [DIMMスロット×2]			
表示機能	グラフィックアクセラレータ		チップセットに内蔵			
		ビデオRAM	最大128 ~ 799MB*26(Windows Vista®の場合)、 最大256MB*39(Windows® XPの場合)			
	表示色(解像度)*29	外付けディスプレイ接続時	最大1,677万色*3(1,600×1,200ドット<UXGA>*4、1,680×1,050ドット<WSXGA+>*4、1,280×1,024ドット<SXGA>*4、1,440×900ドット<WXGA+>*4、1,024×768ドット<XGA>、800×600ドット<SVGA>)			
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット*44、ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)、マイク機能(ノイズ抑制、音響エコーキャンセル*36、ビームフォーミング*37)			
	スピーカ/スピーカ定格出力		ー*6			
	サウンドチップ		Realtek社製 ALC262搭載			
通信機能	LAN		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、Remote Power On機能標準装備			
インターフェイス	USB(USB2.0*8)		6(本体前面×2、本体背面×4)[USB接続キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済]			
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応※MY22L/C-6およびMY18X/C-6のみ搭載			
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1※MY22L/C-6およびMY18X/C-6のみ搭載			
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン×1			
	PS/2		ミニDIN6ピン×2[PS/2接続キーボード選択時、キーボードおよびマウスで占有済]			
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1			
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1*38(マイク入力インピーダンス20kΩ、入力レベル100mVrms(マイクブースト有効時は5mVrms)、バイアス電圧2.5V)			
		ライン入力	ステレオミニジャック×1(入力インピーダンス20kΩ、入力レベル1Vrms)			
		ヘッドフォン出力	ライン出力と共用(対応ヘッドフォンインピーダンス16Ω-100Ω「推奨32Ω」*45、出力電力5mW/32Ω)			
		ライン出力	ステレオミニジャック×1(出力インピーダンス22kΩ、出力レベル 1Vrms)			
ベイ	内蔵3.5型ベイ[空き]		1スロット(標準HDDで占有済)[0]			
	5型ベイ[空き]		1スロット(DVD/CDドライブまたはFDD&DVD/CDドライブ(薄型)で占有済)[0]			
電源			AC100V±10%、50/60Hz(入力波形は正弦波のみをサポート)			
消費電力*13(最大構成時*22) ※Windows Vista® Businessの測定値			約40W(最大約101W)		約39W(最大約85W)	
消費電力*13(最大構成時*22) ※Windows® XP Professionalの測定値			約40W(最大約98W)		約38W(最大約84W)	
皮相電力*13(最大構成時*22) ※Windows Vista® Businessの測定値			約41VA(最大約102VA)		約39VA(最大約86VA)	
皮相電力*13(最大構成時*22) ※Windows® XP Professionalの測定値			約41VA(最大約100VA)		約39VA(最大約85VA)	
エネルギー消費効率(2007年度省エネ達成率)*14 ※Windows Vista® Businessの測定値			j区分 0.00065(AAA)		j区分 0.0014(AA)	
エネルギー消費効率(2007年度省エネ達成率)*14 ※Windows® XP Professionalの測定値			j区分 0.00065(AAA)	j区分 0.00071(AAA)	j区分 0.0014(AA)	
電波障害対策			VCCI ClassB			
外形寸法(本体)			66(W)×343(D)×352(H)mm(スタビライザ含まず)、 188(W)×343(D)×352(H)mm(スタビライザ含む)*16			
質量(本体)*15			約7.1kg			
温湿度条件			10 ~ 35℃ 、20 ~ 80%(ただし結露しないこと)			
インストール可能OS*17*18			Windows Vista® Enterprise(SP1)/Business(SP1)/Home Basic(SP1)、 Windows® XP Professional(SP3)			

型名*1	MY22L/C-6	MJ22L/C-6	MY18X/C-6	MJ18X/C-6
主な添付品	サービスコンセント付き電源コード、スタビライザ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他			

＊ 1: セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の『型番を控える』をご覧ください。
＊ 3: グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。
＊ 4: グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。
＊ 6: 音源再生には外付スピーカまたはスピーカを搭載したディスプレイが必要です。(本体ライン出力端子使用)
＊ 8: USB接続キーボードのUSBハブを経由すると、USB転送速度が最大12Mbpsに制限されます。
＊ 13: メモリ1GB(1,024MB×1)、HDD 80GB、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ(薄型)(MJ22L/C-6およびMJ18X/C-6はCD-R/RW with DVD-ROMドライブ)、FDDあり(MJ22L/C-6およびMJ18X/C-6はFDDなし)、PS/2 109キーボード、PS/2マウス(ボール)の構成で測定しています。
＊ 14: エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
＊ 15: メモリ1GB(1,024MB×1)、HDD 80GB、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ(薄型)(MJ22L/C-6およびMJ18X/C-6はCD-R/RW with DVD-ROM)、FDDあり(MJ22L/C-6およびMJ18X/C-6はFDDなし)の構成での質量です。(キーボード、マウスの質量は含みません)
＊ 16: 縦置き時の足以外の突起物は含みません。
＊ 17: 「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
＊ 18: インストール可能OS用ドライバは本体に添付していません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」→「ダウンロード・マニュアル」の「ダウンロード」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」→「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」に順次掲載します。なお、インストール可能OSを利用する際、インストール/添付アプリケーションや一部の機能が使用できない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
＊ 22: 最大構成時の値は、セレクションメニューで選択可能な最大構成に加え、拡張ポートおよび拡張スロットをすべて占有した状態で算出した値です。
＊ 26: ビデオRAMは、メインメモリを使用します。また、ビデオRAM容量は、搭載するメインメモリの容量によって異なります。出荷時のBIOSセットアップユーティリティの設定値は64MBになります(128MB、256MB選択可)。また、システム全体とグラフィックスの負荷状態に応じて、メインメモリの領域を動的に使用します。使用可能なグラフィックスメモリの総容量は搭載するメインメモリの容量によって異なります。また、ディスプレイドライバ変更により総容量が変わる場合があります。使用可能なグラフィックスメモリの総容量とは、Windows Vista®上で一時的に使用する共有メモリやシステムメモリを含んだ最大の容量を意味します。使用可能なグラフィックスメモリの総計とは、新たにWindows Vista®で分類されたグラフィックスメモリを意味します。グラフィックスメモリには専用ビデオメモリ、システムビデオメモリおよび共有システムメモリすべてを含みます。
＊ 29: セレクションメニューで選択可能なディスプレイの最大解像度より小さい解像度を選択した場合、拡大表示機能によって文字や線などの太さが不均一になることがあります。
＊ 36: 録音中にスピーカが引き起こすハウリングを軽減する機能です。
＊ 37: ステレオマイク使用時にこの機能を有効にすると、マイクを向けていない方向からのノイズを軽減させることができます。
＊ 38: パソコン用マイクとして市販されているコンデンサマイクやヘッドセットを推奨します。
＊ 39: ビデオRAMは、メインメモリを使用します。また、ビデオRAM容量は、搭載するメインメモリの容量によって異なります。出荷時のBIOSセットアップユーティリティの設定値は64MBになります(128MB、256MB選択可)。
＊ 44: 使用出来る量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
＊ 45: 周波数特性を保証する値ではありません。

◆セレクションメニュー*51

型名*1		MY22L/C-6 MJ22L/C-6 MY18X/C-6 MJ18X/C-6
再セットアップ用データ*52	標準	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53 (Windows Vista®インストールを選択した場合のみ*87)
	選択可能	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53 (Windows Vista®インストールを選択した場合のみ*87)&再セットアップ用媒体添付*86
メモリ*55	512MB	DDR2-SDRAM、PC2-6400、512MB DIMM×1
	1GB	DDR2-SDRAM、PC2-6400、1,024MB DIMM×1
	2GB	DDR2-SDRAM、PC2-6400、1,024MB DIMM×2
FDD		3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*80
ハードディスク	80GB	約80GB*58、Serial ATA/300、7,200rpm、SMART機能対応
	160GB	約160GB*58、Serial ATA/300、7,200rpm、SMART機能対応
DVD/CDドライブ*61*62	DVD-ROM*63*64	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(2層)読み込み:最大8倍速*60、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大8倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69
	CD-R/RW with DVD-ROM*63*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-R書き込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(2層)読み込み:最大8倍速*60、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大8倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69
	CD-R/RW with DVD-ROM(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD-R(2層)読み込み:最大4倍速*60、DVD+R(1層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大4倍速、DVD+RW読み込み:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69
	DVDスーパーマルチドライブ*63*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大40倍速、CD-R読み込み:最大40倍速、CD-R書き込み:最大40倍速、CD-RW読み込み:最大40倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大16倍速、DVD-Video読み込み:最大4.8倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大10倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大16倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大8倍速*60、DVD-R(2層)書き込み:最大8倍速*72、DVD+R(1層)読み込み:最大10倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大16倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大8倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大12倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大12倍速*69
	DVDスーパーマルチドライブ(薄型)*64*65*66	CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW読み込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-Video読み込み:最大4倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速*67、DVD-R(2層)読み込み:最大4倍速*60、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速*72、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW読み込み:最大8倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*68、DVD+RW読み込み:最大8倍速、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*69、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*69*71
キーボード・マウス	PS/2 109キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付
	テンキー付きPS/2小型キーボード & PS/2マウス(ボール)	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付き、PS/2インターフェイス、外形寸法:384(W)×154(D)×36(H)mm、質量:約0.8kg、PS/2マウス(ボール式、スクロールホイール付き)添付
	USB 109キーボード & USBマウス(光センサー)	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付き、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*75、USBインターフェイス、外形寸法:472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBマウス(光センサー式*76、スクロールホイール付き)添付

＊ 51: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っていません。
＊ 52: セレクションによっては、再セットアップ用媒体は添付されていません。再セットアップ用バックアップ媒体の購入方法は http://nx-media.ssnet.co.jp/ をご参照ください。
＊ 53: HDD内の約4GBを再セットアップ領域として使用しています。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をDVD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。
＊ 55: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。
＊ 58: 40GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済みです。また、Windows Vista®インストールモデルでは最後の約4GBを再セットアップ領域として使用しています。

＊ 60: 追記モードで記録されたDVD-R(2層)ディスクの読み込みはサポートしていません。
＊ 61: メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊ 62: コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊ 63: 本体縦置時、8cmCDは使用できません。
＊ 64: DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD® for NEC」が添付されます。
＊ 65: 書き込みツール「Roxio Creator LJB」が添付されます。
＊ 66: バッファアンダーランエラー防止機能付きです。
＊ 67: DVD-RはDVD-R for General Ver.2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 68: DVD-RWはDVD-RW Ver.1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊ 69: DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 (片面4.7GB)に準拠したディスクに対応しています。DVD-RAM Ver.1 (片面2.6GB)はサポートしていません。また、Windows® XP標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。なお、カートリッジ式のディスクは使用できませんので、カートリッジなし、あるいはディスク取り出し可能なカートリッジ式でディスクを取り出して使用してください。
＊ 71: DVD-RAM12倍速メディアの書き込みはサポートしていません。
＊ 72: DVD-R(2層)書き込みは、DVD-R for DL Ver.3.0に準拠したメディアの書き込みに対応しています。ただし追記には未対応です。
＊ 75: USBコネクタから100mA以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また、USB2.0は非サポートです。
＊ 76: 光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
＊ 80: 1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要です(標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマットはできません。
＊ 86: 再セットアップOSがWindows Vista®の場合はDVD-ROM、Windows® XPの場合はCD-ROMでの提供となります。
＊ 87: Windows XP Professionalインストールサービス適用を選択した場合、再セットアップ用媒体選択の有無に関わらず、再セットアップ用バックアップイメージのHDD格納はありません。

セレクションメニューで選択できるディスプレイ仕様一覧

	20.1型高精細ワイドTFT液晶ディスプレイ(デジタル/アナログ共用)	19型ワイドTFT液晶ディスプレイ(デジタル/アナログ共用)	19型TFT液晶ディスプレイ(デジタル/アナログ共用)	17型TFT液晶ディスプレイ(デジタル/アナログ共用)	15型TFTアナログ液晶ディスプレイ
セレクションメニュー名	20.1型高精細ワイドTFT-LCD(WSXGA+)	19型ワイドTFT-LCD(WXGA+)	19型TFT-LCD(SXGA)	17型TFT-LCD(SXGA)	15型TFTアナログ-LCD
型名	LCD205WXM	LCD194WXM-V	LCD93VXM-V	LCD73VXM-V	LCD52VM-V
概要	20.1型高精細ワイドTFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー*3、ステレオスピーカ搭載	19型ワイドTFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー*3、ステレオスピーカ搭載	19型TFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー*4、ステレオスピーカ搭載	17型TFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー*4、ステレオスピーカ搭載	15型TFT液晶パネル、視野角拡大フィルム、フルカラー*5、ステレオスピーカ搭載
インターフェイス	DVI-D(24ピン)、アナログRGB ミニD-sub15ピン、ステレオライン入力×1				アナログRGB ミニD-sub15ピン、ステレオライン入力×1
ドットピッチ	0.258mm	0.284mm	0.294mm	0.264mm	0.297mm
解像度	640×480ドット*2、800×600ドット*2、1,024×768ドット*2、1,280×1,024ドット*2、1,680×1,050ドット(自動切替)	640×480ドット*2、800×600ドット*2、1,024×768ドット*2、1,440×900ドット(自動切替)	640×480ドット*2、800×600ドット*2、1,024×768ドット*2、1,280×1,024ドット(自動切替)		640×480ドット*2、800×600ドット*2、1,024×768ドット(自動切替)
消費電力	約45W(サスペンド時約2W以下)	約41W(サスペンド時約2W以下)	約39W(サスペンド時約2W以下)	約32W(サスペンド時約2W以下)	約23W(サスペンド時約2W以下)
皮相電力	約90VA	約80VA	約75VA	約70VA	約50VA
外形寸法	約471.4(W)×260.0(D)×360.9～410.9(H)mm	約439.4(W)×209.8(D)×347.1(H)mm	約405.5(W)×205.0(D)×405.5(H)mm	約368.0(W)×205.0(D)×381.5(H)mm	約344.6(W)×165(D)×352.7(H)mm
質量	約7.5kg	約4.6kg	約4.7kg	約4.3kg	約3.3kg
LCDドット抜け*1	0.00015% 以下	0.00013% 以下	0.00018% 以下		0.00017% 以下
チルト	上20° 下5°				
スイブル	左170° 右170°	ー			
製造元	NECディスプレイソリューションズ*6				

＊ 1: ドット抜け割合の基準値はISO13406-2の基準に従って、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。
詳細は http://nec8.com/products/pc/lcddot.html をご参照ください。

＊ 2: 拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。

＊ 3: ディザリングにより1,677万色を実現します。

＊ 4: ディザリングにより1,670万色を実現します。

＊ 5: ディザリングにより1,619万色を実現します。

＊ 6: ディスプレイの保証はNECディスプレイソリューションズ社の規定に基づきます。詳細は
http://www.nec-display.com/products/display/3y.html をご参照ください。

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T使用時：1000Mbps
	100BASE-TX使用時：100Mbps
	10BASE-T使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T使用時：UTPカテゴリ5e以上
	100BASE-TX使用時：UTPカテゴリ5
	10BASE-T使用時：UTPカテゴリ3または5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大1024台／ネットワーク
ステーション間距離／ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約200m ／ステーション間 100BASE-TX：最大約200m ／ステーション間 10BASE-T：最大約500m ／ステーション間 最大100m ／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

11 Windows Vista利用時の留意事項

Windows Vistaご利用の際は、次の点にご留意ください。

1. システムフォントはJIS2004対応

Windows Vistaではシステムフォント[*1]、およびIME（かな漢字変換モジュール）がJIS2004（JIS X 0213:2004）対応となります。JIS2004ではWindows XPで採用しているJIS90（JIS X 0208:1990）に比べて文字数が拡張されており、かつ一部文字の字体が変更されております。そのため、従来のJIS90環境と混在した場合、拡張された文字が表示/印刷されなかったり、字体が変わって表示/印刷されたりする場合があります。
Windows VistaでJIS90環境を使用するためには、マイクロソフト社より提供されるJIS90互換フォント[*2]を適用し、かつIME（かな漢字変換モジュール）の設定により変換候補の文字をJIS90の範囲に絞り込む必要があります。
JIS90互換フォントの入手方法については、Windows Vista情報ポータルサイト（下記）にてご紹介しております。

＊1：Windows XPでも提供されていた「MS明朝」、「MS P明朝」、「MSゴシック」、「MS Pゴシック」、「MS UI Gothic」の5書体に加え、Windows Vistaより新規追加された「メイリオ」。
＊2：「メイリオ」についてはJIS90互換フォントは提供されません。

2. Internet Explorer 7使用上の注意

Internet Explorer 7では従来のInternet Explorer 6（以下IE6）に比べてタブブラウザ方式の採用や表示仕様の一部が変更されているため、Webサイトによっては正しく表示できない場合があります。また、セキュリティ機能の強化に伴い、従来のIE6とは一部動作が変わる場合もありますので、業務システムなどでご利用になる場合はご注意ください。

3. 通信設定はIPv6

Windows Vistaでは通信プロトコルの標準設定はIPv6となっており、IPv6で通信できない場合には従来のIPv4で通信を行う仕様になっております。そのため、工場出荷時のままIPv4しか対応していないネットワーク環境でご利用になる場合、動作が遅くなる場合があります。
Windows Vistaにはネットワーク設定でIPv6を無効化する機能が用意されております。ご利用にあたっては、十分な評価を行うことをおすすめします。
設定方法については、Windows Vista情報ポータルサイト（下記）でご紹介しております。

＜NEC ビジネス PC 向け Windows Vista 情報ポータルサイト＞

http://nec8.com/products/vista.html

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows Vista、Windows XPおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) 本書に記載されている内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet ExplorerおよびPowerPointは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
インテル、Intel、Celeron、インテル CoreおよびPentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
PS/2は、IBM社が所有している商標です。
Corel、InterVideo、WinDVDはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。

Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。
Roxio Creator、およびBackOnTrackは、米国Sonic Solutions社の商標または登録商標です。
TRENDMICRO、およびウイルスバスターはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
Standby Rescue Multiは、株式会社 ネットジャパンの商標です。
NVIDIA、nVIDIAロゴ、GeForceは、NVIDIA Corporationの商標または登録商標です。
Phoenixは、Phoenix Technologies Ltd.の登録商標です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
「Edy」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
SecureBranchは日本電気株式会社の登録商標です。
DeviceProtectorおよびSecureRedirectorはNECパーソナルプロダクツ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。

初版 2008 年 10 月

853-810602-314-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙を使用しています。

810602314A